

みんなで金華山に登りましょう!

日時 10月15日(日)
 9時 一宮駅集合
 10時 岐阜公園
 12時 岐阜城
 15時 岐阜公園
 16時半 一宮駅
 費用 実費個人負担
 持物 弁当・水筒・雨具等
 申し込みは 0586-25-2667 へ



まごころ手織りクラブ

♪少しずつではありますが、手織りの仲間が増えています。自由に糸を選び、自由に織ることは、自分を表現できる喜びを感じます。それぞれの感性で作品が出来上がるので、とても感動します。
 手織りをしながら、情報交換も盛んで 素晴らし出会いや発見があり、とても楽しいです。この夏は、汗取りと日焼け防止を兼ねた、ガサガサに織った麻のマフラーが大活躍しました。
 ♪月～土曜 10:00～16:00
 ♪体験したい方は、広場使用料 100 円で
 ♪糸から選んで織ってみたい方は月会費 1000 円と糸代が必要です
 ♪初めてのの方は、ご連絡ください
 TEL (0586) 73-8707

10月の定例会

平成 29 年 10 月 1 日(日)
 2班 救急救命講習 文京ふれあい広場 09:00～12:00
 1班 定例会・安全運転講習会 藤田邸 09:00～12:00

班分けについては先月と同じです。安全運転講習は、移動サービスに関わる方は実技講習もごさいますのでよろしくお願いいたします。

平成 29 年 活動予定

9月 14日(木) サービス提供者会議
 15日(金) 会報発行
 16日(土) サロン食卓会
 20日(水) 地域密着型運営推進会議
 26日(火) 理事会
 28日(木) 児童デイ会議



10月 01日(日) 定例会勉強会
 05日(木) ボランティア展実行委員会
 10日(火) デイサービス会議
 サロン食卓会
 14日(土) 福祉とボランティア展
 15日(日) 福祉とボランティア展
 金華山登山

月	会員数				市民事業					介護保険			障害福祉サービス								
	能力	利用	賛助	合計	有償活動		移動サービス	レスパイト	ふれあいサロン	訪問介護	通所介護	居宅介護支援	居宅介護	移動支援	まごころ レフト	ライト					
					回数	時間											回数	時間	回数	時間	回数
7月	54	49	28	131	140	141	49	0	13	169	537	537.5	71	84	385	427	41	71	23	129	176
8月	54	49	28	131	136	151	44	1	14	226	493	500.8	76	60	376	457	37	53	25	166	182

特定非営利活動法人一宮まごころ

放課後デイサービスまごころレフト・ライト

〒491-0041 一宮市文京 1 丁目 4-6
 TEL 0586-73-8707 Fax 0586-73-8870
 E-mail magokoro@plum.ocn.ne.jp
 ホームページ http://www.npo-magokoro.jp

〒491-0023 一宮市赤見 4 丁目 2-4
 TEL 0586-25-2667 Fax 0586-25-2668
 E-mail magokorojidou@plum.ocn.ne.jp

まごころ

平成 29 年 9 月 15 日 NO.291 号
 特定非営利活動法人
 一宮まごころ

「救急救命講習」と「安全運転講習」

8月9月の勉強会は、2班に分かれて受講することになりました。

◇1班「救急救命講習」

講師：一宮消防本部署員様

AEDを使用しての救命処置として、実際に体験しながらの講習を受けました。緊急な時に、慌てずに対応できるよう、慣れることが必要であると考え、毎年 勉強会で行っています。

◇2班「安全運転講習」

講師：有限会社サンライズ 赤堀紀之様

なぜ事故が起きるのか？交通事故の原因や判断ミス、操作ミスの要因を考え、自転車事故について等ご講義を頂きました。最後に、運転適性テストも行い、その結果には驚きを隠せませんでした。

また、講義の前には、事例をもとにグループ毎に「なぜこの事故は起こったか？」「どうしたら防げたか？」を話し合いました。状況を想像しながら、原因について考えてみました。多くの意見が出て、どうしたら良いか？を活発に話し合えたと思います。

ハイリットヒの法則というのをご存知でしょうか？1つの重大事故の背景には、29 の軽微な事故が存在するという法則です。一宮まごころでは、ヒヤリ・ハットの記録を提出して頂くことになっています。

大きな事故を防ぐには、ヒヤリ とした事故を共有し、重大事故を防ぎたいと思います。



～あさひ生活応援

サポーター養成講座～

(尾張旭市民で介護・福祉に関心があり、4日間参加できる方対象)

尾張旭市社会福祉協議会様より、あいち福祉ネットへ 市民の方への生活支援・集いの場づくりの実践事例をご紹介するという内容で依頼がありました。

第1日目は、尾張旭市社協星原様より「生活支援で人にやさしいまちづくり」尾張旭市役所長寿課藤田様より講義があり、その後「個別訪問援助」で、あいの家 数井様・南医療生活協同組合男塾 松下様、「つどいの場づくり」で、ネットワーク大府 矢澤様・かくれんぼ 水野様・一宮まごころ 武保がそれぞれの活動を紹介させていただきました。参考になったと思っ頂けると良いのですが。参加者が少なかったのが残念でした。

あさひ生活応援サポーターとは？「ちょっとした困りごと」のお手伝いで、高齢者に寄り添っていただく支援者です。一宮市だと「ちょこボラ」「基準緩和型ヘルパー」「サロンリーダー」のような方です。地域の特徴を生かした、住民主体といわれていますが、道を探していく過程は行政と一緒に考えていくべきところ。一宮市は、まだまだこれから力が発揮されると期待しています。

